

# 理事長就任の御挨拶

令和5年4月

## 牧元 幸司

- 昭和37年8月生まれ。東京大学法学部卒業。
- 昭和60年4月、農林水産省に入省。農林水産技術会議事務局先端産業技術研究課長、生産局食肉鶏卵課長、林野庁企画課長、宮崎県副知事、大臣官房文書課長、林野庁林政部長、内閣官房内閣審議官、林野庁次長、林野庁長官、農村振興局長を歴任。
- 令和5年4月、農林漁業信用基金理事長に就任、現在に至る。



この度、独立行政法人農林漁業信用基金の理事長に就任しました牧元幸司です。

農林漁業信用基金は、農業の担い手の育成・確保や経営の安定化、林業の持続的かつ健全な発展、水産業の成長産業化等の農林水産政策の一環として、農林漁業を営む皆様の信用力を補完し、農林漁業経営等に必要な資金の融通を円滑にすること等により、農林漁業の健全な発展に資することを使命とする独立行政法人です。

当基金は、農業信用基金協会及び漁業信用基金協会が行う農業・漁業経営等に必要な借入金の債務保証について保険を行うとともに、林業の経営等に必要な借入金について直接債務保証を引き受ける業務を行っています。また、災害が発生した際に、農業・漁業を営む皆様への共済金・保険金の支払が円滑に行われるよう、農業共済団体・漁業共済団体への貸付けの業務を行っています。

令和5年度から新たな中期目標期間がスタートしました。

今後の5年間は、農業信用基金協会、漁業信用基金協会や融資機関等関係機関と連携し、脱炭素・グリーン化の取組の導入、スマート農林水産業の実装などの社会経済情勢の変化にも適切に対応しつつ、借入者の経営財務状況に基づく信用リスクに応じた保証・保険の引受けを通じて、農林漁業を営む皆様に対して質の高いサービスを提供してまいります。

また、適切な保険・保証料率や貸付金利の設定、保険事故率・代位弁済率の低減、貸付業務の適正な実施に加え、業務のIT化などを通じた業務運営の効率化や情報セキュリティ対策に取り組んでまいります。

皆様の期待に沿ったサービスが提供できるよう、役職員が一丸となって業務を遂行いたしますので、今後とも当基金の業務に御理解と御支援の程、よろしくお願いたします。

独立行政法人農林漁業信用基金  
理事長 牧元 幸司